

生活支援コーディネーター業務チェックシート

< (1) 基礎 >

- ①生活支援体制整備事業、介護保険制度を理解している
- ②生活支援体制整備事業、介護保険制度を説明できる
- ③協議体を開くことができる（人的ネットワークが出来ている）
- ④地域の社会資源を把握できている
- ⑤地域の社会資源を見える化し、情報提供できる

< (3) 地域資源開発 >

- ①地域のニーズ把握方法を地縁団体と検討する
- ②ニーズ把握を地縁団体と共に実施する（ニーズ調査、個別訪問等）
- ③ニーズを元に、今ある社会資源で活用できるものをマッチングする
- ④今ある社会資源では解決できない課題の解決方法（開発）を検討する
- ⑤今ある社会資源では解決できない課題の解決方法（開発）を実施する

< (5) ケアマネジメント支援 >

- ①地域ケア個別会議等でケアマネジャー等に助言・提案ができる
- ②個別ケアから挙げた社会資源の実現に向けて動くことができる

< (2) 担い手の確保（ボランティア） >

- ①既存のボランティア活動を把握する
- ②サポーター養成講座の必要性を検討
- ③マッチングの仕組みを検討
- ④サポーター養成講座のカリキュラム作成
- ⑤サポーター養成講座開催
- ⑥サポーター定例会の開催（情報共有）

< (4) 担い手の確保（企業等） >

- ①既存の社会貢献活動を把握する
- ②既存の社会貢献活動を見える化し、情報提供ができる
- ③社会貢献活動登録の提案
- ④地域へ社会貢献活動の紹介・マッチング

< (6) 情報発信 >

- ・広報紙、Webでの情報発信を行っている